

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	スポーツ振興課 リンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
36	【重点事業】トップアスリートを招へいたスポーツイベントやスポーツ教室の開催		
事業概要	トップアスリートを招へいたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	①めぐろスポーツまつり ・野球教室(東京ヤクルトスワローズOB)、硬式テニス(神尾米さん)、ソフトテニス(原野亜衣さん) ②オリンピック・パラリンピック機運醸成事業 ・第2回目黒シティラン(野球:原辰則さん、マラソン:君原健二さん) ・SOMPOボールゲームフェスタin目黒区 体操(中野大輔さん)、バスケットボール(岩屋睦子さん、山田温子さん)、サッカー(安田有希さん、松田悠さん)、バレーボール(柴小屋康行さん、嶋田美樹さん)、ソフトボール(馬淵智子さん、廣瀬芽さん) ③指定管理者事業 駒場体育館 オリンピアン(競泳 末永雄太さん 新体操 田中琴乃さん) 日本代表選手(水球 青木美友さん 競泳 青木涉瑚さん) ・区民センター体育館 実業団選手(バドミントン 高野将斗さん、松居圭一郎さん、竹内義憲さん) 全日本出場選手(ソフトテニス 渡辺秀二さん) 日本代表選手(新体操 東川歩未さん) ・中央体育館 オリンピアン(バスケットボール 結城昭二さん) ・八雲体育館 プロ卓球プレーヤー(三田村宗明さん) ・宮前公園庭球場 元プロテニスプレーヤー(赤羽毅朗さん)		
評価の理由	・オリンピック・パラリンピアンをはじめとした、各競技のトップアスリートの技術や競技に対する姿勢に触れ合うことで、スポーツへの関心やきっかけ作りに、大いに寄与した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成にも貢献した。		
課題など	・オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技を中心とした障害者スポーツ競技にも、より関心をもってもらえるよう障害者スポーツ競技のトップアスリートに協力をしてもらい、イベント等の開催の継続が必要。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
37	スポーツ表彰		
事業概要	スポーツを通じて優秀な成績を収めた区民及び団体を表彰し、その功績を称えることにより、区民にスポーツを奨励する。また出場した大会等の情報をホームページに掲載する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	国際大会 : 個人3人 全国大会 : 個人8人、団体1件 関東大会 : 団体2件 東京都大会 : 個人5人、団体6件 計25件		
評価の理由	目黒体育協会や区内私立学校等への照会のほか、めぐろスポーツニュースやHPなどにより年間を通じて周知を行い、自薦によるものも含め、前年度と同程度の推薦があり、表彰することができた。		
課題など	高齢者スポーツ・障害者スポーツ、ニュースポーツなど、従来、その大会目的や大会規模などで対象外としていたものについても、スポーツを広く区民に奨励するという表彰の目的から、対象の拡大を図っていくことが求められている。		

		所属名	教育政策課
事業No.	事業名		
38	児童・生徒表彰		
事業概要	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を応援するため、表彰を行う。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度 実績	団体 陸上部男子 個人 スポーツ関連60名		
評価の理由	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を表彰することで、他の児童・生徒を含めて今後の励みとすることができたため。		
課題など	活動の場の多様化等に伴う表彰基準の見直し		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
39	【重点事業】障害のある人となない人がともに行うスポーツ事業の実施		
事業概要	障害のある人となない人がともに行うスポーツ活動の機会を提供する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度 実績	<p>【駒場体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい水中運動教室 : 7日 41人 ・みんなでダンス : 1日 47人 ・ふれあい広場 : 3日 30人 <p>【区民センター体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポーツ広場 : 4日 4人 ・ふれあいスポーツフェスティバル : 1日 4人 <p>【中央体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポーツ広場 : 11日 156人 ・のびのびふれあいスポーツ教室 : 8日 68人 ・スポーツde障がい者交流会 : 1日 139人 ・ふれあい体操教室 : 11日 186人 <p>【八雲体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジふれあいスポーツ教室 : 6日 29人 ・親子で楽しむ!ふれあい体操 : 6日 52人 ・めぐろふれあいフェスティバルdeスポーツ : 1日 122人 <p>【砧野球場・サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砧ふれあいスポーツ教室 ・砧ふれあいスポーツ広場 <p>※台風被害によるグラウンド復旧工事閉鎖の為、中止</p> <p>【南部地区プール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい水泳教室 : 5日 146人 		
評価の理由	<p>・各施設の障害者スポーツ指導員などを中心に、障害のある人となない人がふれあえるような教室やイベントを、各施設で継続して実施した。</p> <p>・障害のある人となない人が協力しあいながら、安定して事業が実施されている。また、障害のある子どもだけでなく運動が苦手な子どもも対象とした教室事業を実施し、子ども同士で触れ合う機会を設定するなど、各体育館・地区プール等で工夫をこらして事業を運営している。</p>		
課題など	<p>・参加者が少ない教室などもあるので、より多くの人に参加してもらい、スポーツを通じて障害のある人となない人とのコミュニケーションの機会の場を提供できるよう、実施方法や周知の仕方について、継続して検討していく。</p>		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
40	トップアスリートを招へいたスポーツイベントやスポーツ教室の開催 〈再掲 事業番号36〉		
事業概要	トップアスリートを招へいたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	①めぐろスポーツまつり ・野球教室(東京ヤクルトスワローズOB)、硬式テニス(神尾米さん)、ソフトテニス(原野亜衣さん) ②オリンピック・パラリンピック機運醸成事業 ・第2回目黒シティラン(野球:原辰則さん、マラソン:君原健二さん) ・SOMPOボールゲームフェスタin目黒区 体操(中野大輔さん)、バスケットボール(岩屋睦子さん、山田温子さん)、サッカー(安田有希さん、松田悠さん)、 バレーボール(柴小屋康行さん、嶋田美樹さん)、ソフトボール(馬淵智子さん、廣瀬芽さん) ③指定管理者事業 駒場体育館 オリンピアン(競泳 末永雄太さん 新体操 田中琴乃さん) 日本代表選手(水球 青木美友さん 競泳 青木涉瑚さん) ・区民センター体育館 実業団選手(バドミントン 高野将斗さん、松居圭一郎さん、竹内義憲さん) 全日本出場選手(ソフトテニス 渡辺秀二さん) 日本代表選手(新体操 東川歩未さん) ・中央体育館 オリンピアン(バスケットボール 結城昭二さん) ・八雲体育館 プロ卓球プレーヤー(三田村宗明さん) ・宮前公園庭球場 元プロテニスプレーヤー(赤羽毅朗さん)		
評価の理由	・オリンピック・パラリンピアンをはじめとした、各競技のトップアスリートの技術や競技に対する姿勢に触れ合うことで、スポーツへの関心やきっかけ作りに、大いに寄与した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成にも貢献した。		
課題など	・オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技を中心とした障害者スポーツ競技にも、より関心をもってもらえるよう障害者スポーツ競技のトップアスリートに協力をしてもらい、イベント等の開催の継続が必要。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
41	障がい者スポーツ指導員(初級)取得者の活用		
事業概要	障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者を対象に、障がい者スポーツ指導者として活動ができるよう、環境を整備する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	平成29年度目黒区スポーツボランティア登録者数:7名		
評価の理由	・障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会修了者が各施設でスポーツボランティア活動ができるよう、平成28年度から「目黒区スポーツボランティア」制度を導入し、スポーツボランティア登録についての案内を行った結果、登録者が増えた。		
課題など	・スポーツボランティアについては、新たな制度ということもあり、現在登録者が少ない状況であるので、障がい者スポーツ指導員養成講習会等終了者及び指定管理者への周知等について検討していくとともに、スポーツボランティアの有効活用についても、継続して検討の必要がある。		

所属名	文化・交流課
-----	--------

事業No.	事業名		
42	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたボランティアの育成		
事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた、目黒区の魅力発信のための研修会や講座等を開催し、ボランティアの育成を図るとともに、活躍できる環境づくりに努める。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (平成29年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成29年度実績	<p>①ボランティア講座(年2回実施)(目黒区国際交流協会) 参加人数計:96名 内容:ディスカッション「多様な文化を認め合う社会にむけて」、ボランティア説明会</p> <p>②防災語学ボランティア 登録者数:51人 登録言語数13か国語 内容:地震などの災害が発生したときに、日本語の分からない外国人区民等を支援する防災語学ボランティア制度</p> <p>③観光講座 参加人数計:45名 講座内容:「目黒川散策と雅叙園百段階イベント巡り(しながわ観光協会との共同事業) 45人」 しながわ観光協会との共同事業によりしながわボランティアガイドの協力を得た。</p>		
評価の理由	28年度実施していたまち歩きボランティア講座等はボランティア組織からの協力が得られなかったため、今年度は開催しなかった。 しかしながら、近隣区の「しながわ観光協会」と連携し初の共同事業を実施した。今後、両協会の観光振興の連携や相互ボランティアの交流が深まることが期待できる事業となった。		
課題など	ボランティア講座、研修会等の開催に向けたボランティア組織の体制等の見直し、話し合いの機会を設ける等、今後ボランティアを活用した取り組みが課題となっている。		